

## はじめに

環境科学調査センターは、市民の健康、安全および快適な生活環境を守るため、環境行政を科学的かつ技術的に支援する専門機関です。

昭和 46 年に公害研究所として発足し、その後、公害だけでなく幅広い環境問題に対応するため環境科学研究所への名称変更を経て、平成 24 年には公害総合監視センターを編入して組織変更し、現在に至ります。

当センターの役割を簡単な言葉で表すと、「しらべる」、「みはる」、「つたえる」ということとなります。「しらべる」とは研究所時代からの調査・研究であり、「みはる」とは法律に基づく常時監視等です。さらには、環境教育として、得られた知見を市民の方にわかりやすく説明していくことが「つたえる」です。

平成 26 年に本市で開催された「持続可能な開発のための教育（ESD）に関するユネスコ世界会議」を契機として、平成 28 年 3 月には「なごや環境学習プラン」が策定されています。同プランの取組み方針のステップの一つとして、『参加して知る』と記されています。当センターでも、小学生対象の「かんきょう実験スクール」をはじめとして、毎年、各種の環境学習講座を企画しているところです。

当センターにおける平成 28 年度の業務内容と調査研究の成果を、年報として取りまとめました。ご高覧いただき、ご意見、ご指導いただければ幸いです。より良い環境を次世代の市民に引き継げるよう、職員一同研鑽に努めてまいりますので、今後ともご支援、ご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 12 月

名古屋市環境科学調査センター  
所長 中 井 昇